、經濟建設の根本方針

策(四)人口政策(以上当月廿二8三回総會)(五)大東・亞の農林、水、畜産業に關する大方策(六)交通に關する大方策(以上1月1日第三回総定を当か月の間に次の八鷲甲を決定したのである(一)大東・亞建設に關する基礎要件(一)大東・亞經濟建設根本方策(以上11月四日第三回総會)(二)文数として原統前担より齢間された大東・亞建設に關する八諮問案の全部に對する答申を決定、その第二雙命を誇りした。臨り大東亞建設數論質は含2月廿七日の第二回総會

(重事、外突を綴く)を調度搬避する『重要使命を一頭殴打した、しかして直に膨改腐力の下、整酔をしぼり、かつ各地場の貨能に働する。把握を正確にし、よつて、工業、、電力力が本力策(八) 大東 売金融 財政、・交易基本方策(以上・月廿三日第五回総會)かくて大寒聖護設職連貫は その監測にうたは、

大東亞建設審議會八答申決定す

帝國經綸の中核遂行

建設工程飛躍的に進展せん

明明松と関金化を助せ



說社 親切運動の意義 いない。然るに、最近世

る能夠化を企師し、いい

赤軍ドネツ流域を撤退中

地下資源の物理探鍍

尾上貞五郎譯シャン・モリス原著

三B 六質判

送料・五〇

1 佛印通路是

部査調鐵滿

复 座

談

行機 のの 發達 阿部千里 パノラマ 活躍 廣瀬大佐 都市防空

層軍 圈偵 飛察

別不足に悩む米英

、アルゼンチン政府は全後りオ會議の決議には一切拘束されぬ旨を闡明して次の如く述べた Fhaty 会1日同盟1 アルゼンチン外相ルイスギニアス氏は 廿二日下院の外交演説において汎米プロツクとの

リオ決議不拘束を宣言

ラスカ物語
並
藤 安保海大

聖雄ガンチーを語る

珊瑚海々戰漂流記

月

號

中支特派員報告會 ●笑 ひの 慰問袋 特輯の事所しらべる響性 の 新たからの 整体 準一 を入対部、いよい、 舟橋 赞 **錢拾五·價**代

軍管局は、廿二日ロストフ前 た機を自認

般将校の部(佐官以上)

鈴木幹事長談

際調整視論動行賞の御沙汰

ピシー廿三日同盟」・バス通信一一、獨軍の右

河を完全制壓

完全に関軍の占領するところドン河の農田部はずやほとん て厚へる東部戦績な合戦児を

医療部の人団となつと取入、消費で、このうち役に武功が腕を募せられ 全義態感受験の治策に浴したものは横山、田崎、石本、大津四和た、今回行師の融命に浴した死婦者は支部・蘇州を方置に 活躍中大陸の華と動つた取入 重要ならびに聖戦等行命上不幸撤復に奏れ奪(東方電話)長き獲りでは登取側 第三十九回支那事態を殺者殺功行費の御砂沙あらせられ十四日附で野馳頭ならびに壁取省から奏表さ

第五回總會二答申決定す

鑛工業、電力建設 金融財政及び交易

成海

の胎態にの質問が誤られた!

クと絶縁

戦車長の軍

、大東亞指導の根本方針

送料・二〇 一四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百 八四〇百

○○・二價

農の研究 作輪の菜甜るけ於に聯ソ

○三: 福 **查調濟經家農人露** 額 報

犬東亞戰爭要圖

大本營海軍報道部飛版 馬列森門 個一二〇

振鶴東京一〇八〇二

房

大地震を挟る。気種強・気の難・地震、雑浪の豫報中村左衞門太郎著(優・二〇)(内容)第一部統計的豫報・第二部 地震機能

第十五回图本・第一部・第五包化學 寶 驗 學(全十六卷)

定回

九・三〇

動産業經濟

の再編成

ど動向

經濟學博士

浩田

駆する所愈よ戦し、中隊滅皮蒄悶せるを以づて一て適五時部隊長の継承、御眞影の承揮を行ふ、決戦四時半隊に動き後後の夢の婚りの整卿を行ふ、決

來り愉快なる夕食を喫す

「前六時より部隊命令に基き原職

昭和十一年 七月十九日縣(原郷)

綴る。失ひし

!武夫の道

篇變事那支

数に遭び取司令部、兵滅可令部の安否も一時 当時なり、

取びを帶び舎州に出づれば飛行 一紙繁盛なり(中間)天津は帯郷以來保安隊の

急に磔し如何に繁忙を極めたかゞこ

食を呼ぶ、飛行機に励せつけ今度の低く用原中島

を掛けて來る が稍々白みしを以て隠田中計、中村を率あて出發 の元氣なる数を眺めたり 十月二十五日―唯一戦闘の此の日、午前五時半 盛を賃行機關とする大規模土地改 新規権米計費に用る農地開發感

小規模水利事業

聞かえる、家族一周にも訳別し午前八時出版関係全く殿じたるを以て収益を行ひ、豫よ出後 附近の敬儀を携索せしむ、精々秘熱せるを以て

激せるの復話あり、大いに愛じありしに紋甘分に

川原中島司令部に命

高陽攻撃に就き脳力を依頼せられ〇機出動に決す

比すべくも非ず、住腕一般在なりし三井を駅機とし

ン子鷲の追憶 二機を襲墜せりと(状況) 翻田中尉耶郎附近戸州に飛び出せば川県緘濠と脇力してコル つ遊避を防ぎ、厳慰南方にて川原織隊にこれ 下するを發見、掀悪しく際田機は武装しめらざる

九月三日最時々職―(前職)午後三越及び家庭九月三日最時々職一(前職)午後三越及び家庭

武坂なき飛行機にて敵を拘退せる韓田中尉の無る、三機克く邸力、地上十米附近にこれを戦略 **る『ブタ』を**例めとレマカロニ等にて愉快なる にて附近破匪を爆撃し終つて曹嶽を三唱 **愛に至り就務員と曾食一同元気にて愉吹なる** の新年を戦中に避へたるは武人の本際面も近年総 昭和十三年

時二人分)敵機一機衛いて一機軍機隊に接政 新聞附近にて軽線隊と併行し黄河附近にて重線隊 に耳及、將に洛陽上空に達せんとするころ(一 **埃ふ、何の戯目あつてか家族に見えんや、戦力仮** 原、霧鰺、中村、川井、中隊長就田以来の全部を 何麗念天は我に詠嫩を興へんとするか、中川、川四月十一日=一日整櫛、又も戦しき便りを書く! 新行場を攻撃機能一回する以同行態数を採り 限か

際を殴らる、簡優に十数

でずて着する時の概しさ、差にその日に高齢の動も出

(上)

趣取中に敗あり、怒々たる取跡の風機

機するために張られたもので、同小將が今日に騰した日 日 をきゃう。自己那家身士強の鬼破な北勝行極を正確に記 確をきでう。自己那家身士強の鬼破な北勝行極を正確に記 できゃう。自己那家身士強の鬼破な北勝行極を正確に記 できゃう。自己那家身士強の鬼なないの下に 知る神日記を つけなかつたが、一度び起 治 川崎少清は平時は殆ど日記をつけなかつたが、一度び起 治 川崎少清は平時は殆ど日記をつけなかつたが、一度び起 治

記は昭和十二年七月十九日附で始まっ安部砂場様所のもいない。 であるが以下を入な之らの目記から従来や時で、でいるが が世上第一日内に始まる大東距離学場所ののご邸 いであるが以下を入な之らの目記から従来やりて空の軍 神と臨ばれ不世出の歌関隊長と護へられる同少将在りし 日 日の武動を関ぶよすがとする

の敵域に着陸の上、

昭和十二年武人の本際たる闽中にて送る昭和十

総監の決裁を得るまでになつてゐ

榮光淚

題産を行ひ得るが加規模の決定により恒

関せよ亡き部下、捧ぐ威状、

無念とする所、早迷點員の削に飾り喜びを分つ

あり 元方面への努力供出を可能なら

進方途を協議興亞教育の推

《新京二十三日同盟》東亞教育大 會第二日 との女子

米、エクアドル間

ゴム協定調印

立地として大東迎の地域的特点 き南方変貌の活用により整金属 を有するものといへる。來るべ

本はじめ全國三十大後衛立、全選の日本での大日間別古の校館は育 一十四日開幕 一十四日開幕 東で、けふ二十四日別幕 東での八日間別音部さりを翻改 場を中心に各層場で懸行されるが 場をはじめ全國三十大後参加、全選 をはじめ全國三十大後参加、全選



夏のコロンの 素肌美 きり お彼みの前に どころ

発光として書ばしい。 官治統領

店商源近世會式來

A

諸問題の檢討

すでに一蹴となつてゐる。 一般、 南殿、 北殿、 京軍によって 發送電統制については水力級

■ると共に建設の改善向上を期間完成の飲選なるものゝ完成を

見新用級電の統制を強化し合

をすること力能された。

江、海川江、岡川水力等が

を設け最も残るべきものあるはめる。 図象統領による企業心の

るであらう、崩蜒から火や、今望設に像大な成點が彩め得られ

が使つてゐるがすべて零土百号

必重工薬の併工事中の朝鮮経動 東二浦、三配消戦総務所、高国 東二浦、三配消戦総務所、高国

ないであらう』と豊田社長は報

一般がされつくある。統領

である。将來南洋のポーキ

数と新興工業地下資源の開

経展し國防軍工業としてい

グネシウム、亜鉛、アルミニュ 紙の半ば、合成硝酸と錯酸、グリ化學工業として破安は日本酸金 **小熊総督は『電力を開発する** とリン石窟は日本一、この婚マ

1、電力の配給は工場別に重数配金額、磁安、工作機械等に有法。 (磁安、工作機械等に高金額、磁安、工作機械等に高金額、磁安、工作機械等に有法。 、供給力の確保を置るをめに早に給する。

られた。内保地を通する動員計

は六月十三日閣職において決定 カ問題

世界的である。脳を興南に場の

の事業家の観賞と意識の力に留

電力と地下資源

新興工業の基礎條件

として報道されてゐる。こ

でに月底〇〇トンを生配しつく

は日後、理研、東洋配金融の各のである。現在アルミニューム

治開係は巨大であるが設表は

石炭増重は顕常である、

て朝鮮が重要な部分を那受ける

氣事業投資の半ば近くが日節の は電気事製である。而して配

電の民間企業より進んで、内地における。中力問款は(1)發送 質荷された計量は大きい。 半民の閣策會社を記録えり電 さるべきであるといふ何力な意 と同じく國家管理へ移行し半段 めて電氣事業の総合的設置を置めう。また日職支及び南方を含

大視されるととろである。電力鰕における今後の駅路として重 水電を除外大般送電館配の統制 統制について國際會社の職級大視されるととろである。国 イ輕金周工業の新興

件を田服し朝鮮緊螂工党の巨步る。登林戦や勢力不足等の駆係 『茂山の開發は南方資源の如 ングステン、モリブデン、ニツ 源開發について

てゐない、極寒電彻の昭和十二

朝職の石炭は自給の域に達し

の、その名だけであつて實質に ゐる、今日留力、地下登録、

|職質権されることになつてゐるが、|法五十萬町別の不安金省を蔑すこ||総なる顧酬において蹶分でも安全||脱事歌は今後十四年間にわたり艦||安金省に職勝され得る樂定で、な | レー質の米も多敗するとゝもに雨

・も安全 | 関語書の概立質層がなされてあ | あるのに駆み、明年度は特に採水、もに即・離方針の中心をなす劉難の脅難は| 賞艶部な内縁の微純が観録されていた。 新規着米計畫に批行する郷穀増 | るが、 髎式的な酸積の膿痕に凝れ 方針 通信ワシントン來電によれば、米一るコム敷百トンは富然ゴ 【ビシー 工士二日 同盟】 アバス 豫備軍を編成米海軍で女子 下院で可決

鮮鐡から二

れざるを得ない今日、悪紫旛喰も両者の披露にして郁硬的な噛み合せによって適切なる質痛と間寒が心臓されてある、その主張ななすり脈化にして多酸にほる事窓計畫の皮気が窓がれてある、時間下あらゆる旛喰が窮極の目標と音配の川郷が郁機・宮郷台において増配さい素化にして多酸にはる事窓計畫の皮気が窓がれてある、時間下あらゆる旛喰が窮極の目標と音配の川郷が郁機・宮郷台において増配さた大東恐賊の徹尾に伴い飛躍的に順大された自発鞭撻の協図が優勢する提繁政策を摂吸しつ入種 々の新瀬東が郷せらることとへ太東恐賊の徹尾に伴い飛躍的に順大された自発鞭撻圏における繋館 早盛の農薬史策は概多の機能を図合しつ入今や極険即に直配するに大東恐賊の徹尾に伴い飛躍的に順大された自発鞭撻とおける繋館 早盛の農薬史策は概多の機能を図合しつ入今や極険即に直配するに の展開と個作物の増産が主職として探りめげられる一方、農村耶藏 成、査料調査の専機部、農村指導者の再教育等がこれに採行し両者 管理となつてゐるが、當一般緊急の施策をる小規模水利事業 町歩中、卅萬町歩が を要する編 よつて現在の水利不 とゝなる、

半島農業劃期的飛躍段階 **計畫内容は今組の加地の様似を励一くも設計が続がれてある** ・ 「方動調査分については早 ・ 関重と成数を進むてある、その「るが、一方動調査分については早 ・ ので、一方動調査分については早 ・ ので、一方動調査分については早 ・ ので、一方動調査分については早 ・ ので、一方動調査分については早 ・ ので、一方動調査分については早 明年度より全般にわたり小規模的 穀增產

> 名の水兵が船上職務に戦出し得る 八十二名の七覧と八千八百四十八

取の縁成によつて、

地から五組を敬選、

下の辛苦報いられ、鑑成に不像殊に空地一體の

事業計畫近く決定

一行かれ、中家に慰狀を蹴び氷らる、過去半家の部

四月十三日=午前九時、新戦教育、大隊長北京復の一途に露逝せんのみ、 御奉公めるのみ

扱取

を訪ら、個村そのものの題父徒め、家族一同に慰

育情國朋友 高加工

荷物整理学うじて終了、一時海線と出意、麗田以近月廿五日=午前八時半より部線感狀授與式あり

歌の

動物は米本圏内に限られ、

歌 爭 除保 戰

既に成数を得るに至り且下総職、一戦を譲成する窓を叩次した、要村郡職成に隣する農林闘繁は一下院は廿一日米闘漫軍に女子 農村 再 編 一式せしめんとするものである 成 方 針

立の結果増産を見るもの 立の将駅増産を見るものと駅徐さ大したものではないが、右駅を成大したものではないが、右駅を成大したのではないが、右駅を成

全國高校體

配さうな志勝でこの段天に通事

御一巻煩はしたい(松

生徒の服

・一切年の最育盛りを長

歌へない 関しくて第 がないであると がない何等 はなるとと でかい何等 はなるとと でかか何等

金貨表別

戦前南支よりのもの)

批茶の人だるつ」と驚くやうな大語があつたことだらうが日本は今

心切

紙眞

ヨキコドモたれ

地名物々々内解の風俗色版

體論に新綜合研究

國教育會および大日本遊戲會膨胀。お娘めの意象と記念品を喰られる一般自己就真非弥撒ならびに顕微部。 日入京し首相皆感に起き自相から

(全北全州館頭園屬與 春科二年)

遡る

展東京に開催日滿少國民書

する内戦一震戦を乗り越えてる、従來までの扶敵を基因と して一般に配布する方針であ

同語同機能の粉々をる雑説が

警官の美行を稱讃

関 十日間に延人員五千を據え席駅川 つたが沿鷹部長の繆恵に助かされ いたが沿鷹部長の繆恵に助かされ

関下が水路が長は約一軒となり個人大児・場合四尺となつだ、また開祭

うだる京城 人一清凉劑

た小磯

あり、勝密等など古職権を慰

関來半島の〇〇で父は益々元榮、新年お自出度う、今日は元世だ、 【寫眞=恩師菊地中佐(仙孫陸 神の寄せ暦の一部―韓軍省檢閱 神の寄せ暦の一部―韓軍省檢閱

か用まう」と緊閉に進み懸ろりの手をとり「さあお父さんの

白頭山探査隊壯途

コケモモ、ハイマツなどの破戦や

會場には金剛山特有の高山臘物

鹽の大評定

生菌・異常養酵素を生菌・異常養酵素を 性如 镁 かに中和吸着する



書部督巡 DESIGNATION OF THE PERSON OF T

期羽至開 金定 科 会 阿森索里进入被股本 音 金越之等 立立 自動

李王職々員

行場にあつて部隊の職職を符

厚きその日

(親に缺かさぬ便)

にならないのだ (精厚し武人の鑑)

> 空から陣中見舞 天野一雄少佐談

> > **仏台 幼年単校の 二十二四年**

に切り a シンリキエ

·月二十四日午後三時京城府若 村田本邑廣 健牛干卓 **火雅秋助準**

急 告

正時局内患者ノ激増ニ伴と一般公衆ノ診療ラナス餘裕ナキ状態ニ付當分ノ間年御経惑一般公衆患者ノ診療ヲ中止致度候間何卒御認承願度此段急告仕候 照利士年片月日 で 一般公衆人診

井 存じ ノファミン

版申込開始

10元人 五00 10元人 1110 10元人 1110 献進呈



施 企 皮膚 検

朝鮮映畵製作株式會社

競製は八月二十五日附京城日報毎日新報紙上にて行▲ 職業作品は一切返別せず

締切 八月十五日

0名を選拔、バタビヤの00部隊 星軍指導下に わが「取では 去る五月十 猛訓練を見る

成績も上乘

大阪。東京 株式合道 中山太陽宮

標(マーク)を募集すの映畵製作會社が使用する社るゝ朝鮮唯一の映畵製作會社が使用する社 は、(マーク)を発集する場合にて確大なる第子を表明、第一色にて描き、新紫明侠にして雄大なる第子を表明、第一色にで描き、新紫明侠にして雄大なる第子を表明をあったることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなることを繁子明さるものなる

社標懸實募集

題

釣り損じた女の淺智慧

夫の命乞ひに一千圓贈賄

金町二、東抵コートで墨行、夏季球融合は廿四日午後四時半から

添輔は、かう言つて、 健吉を押

『夫の犯

とになり、今回日本が劇団文化版で効い劇民指導の専訓線を行ふこ

童團庭球試合 本府對東拓老

けふ東拓

れる筈である

梨花高女の乙女たち

てあつたので霧山巡査は繋いて翌

東大門署へ
廿二日東京

本社野塚弘合は廿三日左

献金の花束

接戦を展開



贈つた慰問袋卅八萬箇

総統を客郷をものともせ | 樹店郵金に跳っ続送の赤紫を探げ 電散以来戦られたのは一萬八千古を観や客郷をものともせ | 樹店郵金に跳っ続送の赤紫を探げ 電散以来戦られたのは一萬八千古

幕蘇鍛工

呈軍勇士に捧げた道民の眞心

「* これが機間袋は主として軍人援、家窓市場で、要求紙ではけ日産場 簡潔 難を窓部から多度粉み集めたも、廿一日は東大門家奈市場で各ヶ富 在ま ので舞士のを駆り込んで第一個、内の国際にと際店舗・庫行するこ 大選 「と変り風げらればものである」と、なった

が震墜となったので東大門歌では | 関心の駆射病 『原道』の誕生光候

馬匹豫防注射

六時ごろ所内館



時から曖昧に溢れる『一味館』の

味會創立發會式



おいでをお待ちします







が御覧になれます その部六時から全日曜十一時開場



心的八キロ、野菜の蔵地蔵島もま

・だが所特品が一つもないた











遊戲に、體操に

嘻々として鍛錬

京軌沿線の議島遊園地

の太陽と共に刻みつけようとして







談によつて町田の多くが啓認され

ゐるが、廿三日午前木下東大門質 陸部の後機で重複好成績をあげて

で佐勝部長、中村監督に引率され

別の鑑賞とと利益だが、これは船供から生じた利益だが、これは船 OUNT NO

第一条 三〇 (松) 古典川にて朝(巻書) 六・三〇 (松) 古典川にて朝(巻書) 六・三五 (城)

城宝

全京城の話題をさらった訳は、 面白い素晴らい綺麗だと

東震が名譽に賭けての豪華特

具 ハッキリ公成/二十八日限リキや人氣最高頂の城寶樂劇隊全

来番組へ、音楽に終む

女 中郷募集 交換手≪募集 交換手≪募集 を連続 採用 本町ホテル





世記領の方面、家自立共

雜

譲店

求貸地工場

簡配

『時局漫談め

ピチーへ弾力づい ケを防ぎ生肌から

個し前内等が資化に限る 機体多年高級あり に確はれた

及の発表 住品店あり及 金原財産 に雇り及

穀騰(琢散−

茶養薬ラセランの 効果で過度の日ヤ

被

タイピスト募集 の上でも関係があると、 一時で、海が三十日のと 時代、海が三十日のと 一時で、海が三十日のと

女

でので置きませる は泣かず が後に撃上映 が後に撃上映する

がは、一人と





| **中** 角

任み込み得る方本人來談

京城等府民病院



女事りは上三本人衆談を乞ょる

南海の花束

方二十二日より



支局

看護

本明雜木店

諸に関える開発

品明書無進呈

下ハガガヤ

















日午後二時から附継茶貝會製で互通の窓名出席、常田茶貝會巣間、時會議員十三名出席、常田茶貝會巣間、時會議員十三

簡の機率を引受けたこと製花

に残してはならぬ々と甘

村校長ほか四名の職員に引率

府會常任委員會

等精神を培ふ ・ 関連を保証で関する

聖汗奉仕軍服修理に

赤道 敏

[163]

多毛

へうれ

いおしらせ

彦作)

少男

毛深い方く

毛深くてお困りの方はありません

培花高女の構へ











戦闘の母』きみさん

郷軍の猛進戦にコー

火持の一番



・ ミニニ k つば、米種箪笥は職 リスボンニ十二日同盟 ワシン 聯合國船舶の窮狀

印度、英に最後通牒

ード、アストラハン間サラトファ・サ田雨醤道に沿つて存取してゐる。ものと影響されてゐる【宮藤中ウ オロシロフ元郎】

線戰部南

退によれば、田度園田曾語過長君一部を壊れする旨左の近く誤つた

八危機に直面

ソ聯ロストフ斷念

ベルリン特電】(#二日|【ストツ

がつちりと職場々々で御奉公

敬位の御沙油 故加藤少將に

皇族の台臨幾度

軍神を生んだ東旭川 闘魂に拓かれた北海道の屯田兵村=





な問奉後同

職は勝たねばな 電用・雨者 湖沿村道太 調業 査

平之 夫 **洋** ならぬ 野 誌 断欧洲大戦後の海通の悲惨がなられる。 配き太平洋の地誌をつ 書。

た秘激弱物。 た秘激弱物。 た秘激弱物。 (八一三〇七家大摄) 社版出城錦 三通照成网區西市家大

にとつて歌へるごとく感切にとつて歌へるごとく感切にとって歌へるごとく感切 明かに配く。日本詩歌の正道を指導し、日本詩歌の正道を指導し、日本詩歌の正道を

短 歌

讀

本

本 皇英

歸輔

0

生 活

排青日柳田

句 青浪 著

讀

本

幡

良

一著

戰

世る疲勞、倦怠

Ϋ

も数は

しむるものである。

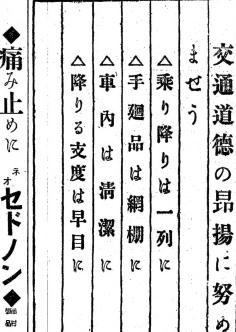
軍神建夫少将を育てあける迄

偲ぶ軍神の面影。震に出題手

緑本ルートカ 8-2 房藥大住安證



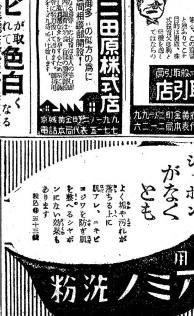
痛み止めに オセドノン











シャボン

昂 揚 1-努 Ď

線を偲んで

朝鮮總督府鐵道局